甘くて滋養分の多い
平名産
ブドーアメ
平町十五丁目
發賣元　佐藤ブドーシ店
平驛構内賣
久保田パンヤ

新發賣
乳酸菌榮養飲料
森永コーラス
新鮮なる味と感覺!!
切にすゝむ名もコーラスの一杯!!!
八百五十グラム入
價一圓五十錢
マツモトヤ
電話二一四番

好評嘖々たる
トリエス印人參サフラン葡萄酒と
美味ポートワインは
目下特賣中賣切れぬ内是非御試用を
特約店　山野邊藥局
平町五丁目角

新意匠の
戒名入提灯
御用命をお待ちします
各種提灯商　スガノヤ提灯店
平町四丁目（電七一二番）

内科
小兒科
花柳病科
（入院應需）
平町紺屋町
藤沼醫院
電話圓五〇七番

登録商標
醤油
味噌
鰹節
酒類
罐詰
食料品
製造問屋
鹽屋山崎合名會社
電話　營業部一〇番
工場二七番

聰明なる婦人の自衛
今姙娠しては母体に障るといふ方に……
花柳病の感染の豫防に……
東都人の推奬せる
ヒメリン
をおすゝめす、本品は花柳病の豫防完全腟殺菌藥コシケ良藥として最高劑なり、用法簡單一丸を腟内に入るれば直ちに溶解し強力なる殺菌作用を起し洗滌の必要なく効果確實、久しく使用するも絶對無害なり。
定價金五十錢　金一圓
特約店　平町田町
藥劑士　宇佐美藥局
電話五五一番

脚氣、淋毒、梅毒、神經痛の
（德島縣、當金屋の家傳の大妙藥）
退痛散
特約店　平町一丁目
大平屋藥店
電話六四二番
總て藥劑は服用せずして其効を論するを得ず敢て壹週間の服用を奬め以て其實驗的證明を俟つのみ。

平町紺屋町
吉田眼科醫院

株式會社磐越銀行
改稱第拾八回
昭和貳年上半期
決算報告
貸借對照表
負債之部

資本金	八五〇、〇〇〇、〇〇〇
諸積立金並ニ繰越金	八三、〇〇〇、〇〇〇
諸預金	六五四、二一〇、〇〇〇
諸貸附金	九〇七、〇八六、〇〇〇
全國爲替取引先	參百參拾五個所

資本金　八五〇、〇〇〇、〇〇〇
諸積立金　六七、五〇〇、〇〇〇
諸預り金　六五四、二一〇、三七〇
爲替借及借入金　五三、五四九、四二〇
未經過割引料　六、四六一、八〇〇
未拂利息　八、六〇四、三三〇
未拂割賦金　七七三、六四〇
當期純益金　二四、五二七、三四〇
合計　一、六六五、六二六、九〇〇

資産之部

未拂込資本金	六〇四、五〇〇、〇〇〇
諸貸出金	九〇六、九一四、五〇〇
割手、荷手	二、四〇三、〇四〇
爲替貸	三、一八四、八六〇
國債及所有物	七七、一五八、〇五〇
預ケ金及現金	六二、四六六、四五〇
合計	一、六六五、六二六、九〇〇

利益金處分

當期純益金	二四、五二七、三四〇
之ヲ處分スルコト左ノ如シ	
法定準備金	二、五〇〇、〇〇〇
特別積立金	二、五〇〇、〇〇〇
行員退職給與積立金	五〇〇、〇〇〇
重役賞與金	四三四、八四〇
株主配當金	八、五九二、五〇〇
後期繰越金	一〇、〇〇〇、〇〇〇

右之通リ候也
昭和貳年七月
株式會社磐越銀行
專務取締役頭取　中野甲藏
取締役　西岡重好
同　小野靜重
同　薗田嘉藏
監査役　明智淺吉
同　大谷喜作
相談役　鈴木堅助
同　森本盛一
支配人　瀧澤俊平

定價　一部金貳錢　一ヶ月卅錢　郵税五厘
廣告料　五號十二字詰一行五十錢
休刊日　日曜大祭日　祝日ノ翌日
福島縣石城郡平町長橋町三五　發行所　常磐毎日新聞社　電話六三〇番
日刊　發行兼編輯人　印刷人　川崎文治
本社下同番地　印刷所　常磐毎日印刷所（電話六三〇番）

常磐毎日新聞

八月一日夕刊

常磐毎日新聞

井戸

瀧井孝作

三

學寮の境内の井戸は石段の上の門内に小さい板葺屋根をされてあつたが、近所の四五軒が共同に此井戸を用つてゐた。各々の家の人はいつも兩方の手桶に汲上げて擔ひ棒の端の繩に附いた木の股のカギで運んできた。この水汲姿はいまは繪のやうに頭に描かれる。何年かかく水汲みをした同士のうち米屋は家の裏に新しく井戸が出來たりまた倉を建てたりした。私共の家の下手隣りは塗師屋だつたが中庭の塀の切戸があいて塗師屋の人はそこから通つて貰ひ水してゐた。塗師屋のまた隣りは女所帶だつたがそこからも家あいの細い通路と塗師屋の庭とを拔けて私共へ貰ひ水にきた。何年かたつて塗師屋は裏に新しい井戸を掘穿つた。塗師屋もまた家運が向いて井戸が出來たらしいのだつた。町のこんな小さい家々は各々井戸を持つなんてことはなかつたが何年かたつて家運が向いたりして井戸は掘られて、かくて町に殖えるわけで、この生活のらくになつた風の町内の二軒のことなどが一しよに思ひ出される。

私共のうちの井戸は離屋へゆく路地の屋根下にあつた。夜分は蓋をする例だつた。子供心に井戸は嚴ごそかに崇とばれて思はれた。正月は井戸の神に小さい松と輪飾が掛けられた。竈の神や各々の神にも輪飾はあつたが、毎年夏の井戸替には水を汲み干したあと、迎へ水、と呼んで清い川上の流れ水を二升樽などに取つて來て井戸の底へあけられた。これは何か理由があるのか分らぬが憶へば半分迷信見たやうに思はれる。

（つゞく）

花澤選手見事成功 竹馬で富士山征服

山階宮殿下の御目にとまる 頂上の內院を一週

平機關庫勤務平青年團員花澤輝一君が竹馬で富士山を踏破すべき計劃のあつた事は既記の如くであるが豫定の如く去る卅日午前四時十二名の應援團に護られて吉田口淺間神社を出發し遂に難所を突破して午後四時廿六分頂上に到着內院を四十二分で一週した由であつて八合目では測候所研究の爲め登山中の山階宮磨王殿下の御目にとまるの光榮に浴した由、因に休息時間は五合目で十五分、七合目廿二分、八合目一時間にて各合目は吉田警察署長また頂上一週は宮主が夫々證したといふ

實習即賣店

四ツ倉商友會が海岸へ開市

石城郡四ツ倉町商友會では夏期における海水浴客の便を計るべく海水浴場の海濱に夏期實習の即賣店を開き景氣を添へてゐる

二毛作品評

平町外四ケ村 本日授與式

平町外好間、平窪、神谷、夏井四ケ村聯合二毛作品評會褒狀授與式は本日午後一時から平町役場町會議場に擧行されたが受賞は左の通りであると

一等大麥(好間)熊谷信安(平窪)川角文五郎(神谷)八幡民彌(平)猪狩喜四郎 紫雲英(夏井)片寄傳次郎 二等大麥(好間)猪狩萬太郎外九名三等大麥(平窪)吉田信也外十九名四等大麥(好間)金成直吾外三十九名

賃銀値下斷行

平町職工組合

平町職工組合(大工、左官、鳶、石工、建具)では今回左の如く賃銀値下げを協議し今八月一日から斷行することになつた

▲大工一日二圓三十錢▲建具職二圓三十錢▲左官二圓五十錢▲鳶職一圓九十錢▲石工二圓七十錢

今日から 夏期大學開講

小名濱の歡待

本縣教育會主催夏期大學は愈々八月一日から小名濱町に於て開催さるゝ事となり大學終了後には陸上、水上の競技を行ふ事となつたので申込者も非常に多く石城郡のみでも三百餘名に達してゐる由だが、地元小名濱町では協賛會を組織して歡迎する事になつた。その豫算は千六百六十圓で、同町大通りに『祝夏期大學』といふ電氣提灯を灯し又會場に當る小名濱小學校正門には電氣裝飾をなした大アーチを建設して町を見よくなすと同時に會員の宿泊を便宜に暴利をさけしむるため指定旅館をまとめ一泊一圓八十錢に提出した由で兎角小名濱は非常な賑はひを呈する事であると云はれてゐる

野砲兵一聯隊 本日平町を通過

湯茶の用意を申込まる

平町では仙臺方面へ野營演習の爲め同驛を通過する野砲兵第一聯隊の人馬が一日午後九時五十五分及二日午前一時十三分同四時四十二分着で各列車毎に人員二百名宛馬匹百四十五頭宛が下車休養する事となつたので兵員及馬匹に給與すべき主食物及副食物湯茶の用意方を當局から申込まれたので卅日午前十時から其準備協議會を開いた

植付不能反別

好間村に十町歩

石城郡內の本年植付不能水田反別は最初相當の面積に上るべく豫想されてゐたが其後充分なる降雨を見たゝめ辛うじて植付は全町村隈なく終了し好間村の一部は約十町歩內外の不能反別を見たのみで昨年の植付不能反別百餘町歩に對し本年は皆無と言てよき程の成績それが爲昨年税務署へ殺倒した免租申請者の如きも本年は一人もない

石城の夏蠶

收繭增加か

石城郡地方の夏蠶は目下四齡位で蠶兒も桑葉も發育が良好なので收繭は增加するものと豫想されてゐるが秋蠶は早口の方は一日ころに掃立て一般は五日ころまでに掃立るものと見られるが石城郡養蠶同業組合の調査に依ると夏秋蠶掃立豫想枚數は二萬三千枚位で前年より一割方增加である、而し今年は繭の取り引が非常に安いので養蠶家は力を落としてゐると

櫻井校長遺兒 教育資金贈呈

急死した縣立磐城高等女學校長櫻井賢文氏の葬儀は明二日磐女校庭で校葬により營まるゝ事既報の如くだが同校長は未だ恩給年限に達せず而も遺兒は十八歳を頭に六人もあるので生徒の父兄達は殊更に同情し校友會同窓會の發起人として山崎與三郎、白井一郎、草野順平の各有志が立ち遺兒に對し幾分の教育資金を贈ることになつた

募集

文藝其他投稿を募集します

尼子追悼弓道

昨日公園で

平町尼子弓友會にては昨日午前五時より松ケ岡公園の矢場に於て故阿形求哲氏の追悼弓術會を催したが當日の競射優勝者左記の如くであると

一等伏見彦衛、二等平井要三郎、三等鈴木丑松、四等吉田直之助、五等植頭鶴松

暑休中の子供には 成可く自由に

休と養の生活をさせよ

原田平第二校長談

夏休み中は成るべく子供等を樂しく遊ばせ一方では修養をさせることが第一であります即ち休と養の生活をさせるのです、遊ばせるにしてもそれは

有益に 遊ばせなければなりません、そして兎角休み中は起居が自由になりますから不規律に流れ易いものでありますがそれは子供には時間割を拵へさせて自分の心からそれを勵行させるやうにします、それだけしても尙學校に行く時分とは違つて子供等の心は兎角

怠りが ちになりますがこれは或る點まで許しても宜しいのです、又學科の事等も夏休み中に忘れて了ひはしないかと親の方で考へられ易いものでありますが、學科のことにしろ精神の緩にしろ九月の始め

學校の 方では子供等に第一學期に習つたことを暗示的な質問をして記憶を呼び起させるとによつて僅かに二三日のうちに子供等は休暇前の心の緊張に取り戻し、忘れたことを思ひ出すものでありますから子供等が多少學科を忘れるやうなことがあつてもさした心配はいらないのであります、休み中の生活としては

危險に 亘ることを避け、度を越さぬ程度の遊戯や遠足或は讀書等をさせます讀書は成るべく良い本を精讀させる方が濫讀よりも益があります、次ぎに休みを利用して適當な仕事を子供等にさせます、即ち

實業を 見習はせるとか、家事の手傳ひをさせるとかはよい經驗になりますし或は家風を見習はせることも夏休みの中において最も効果がありますその他何か計畫を與へてそれを必ず完成せしめることも有益です、親戚を訪問をさせることゝか通信をさせて一門の親善を圖るのも亦有益で必要であります、つまり

斯樣に して休養の生活をさせることが何よりもよいのですが、その間にも子供等の保健の點にも重々注意し九月には皆元氣で學校に行けるやうに注意して貰ひたひものであります

家庭欄

夏のおやつ

エード水 暑くなればなる程これくらゐおやつとして相應しい飲み物はありません、先づ砂糖百二十匁に水二合の割合で玉子の白味半分を加へてよくまぜながら養るのです、それを一度フランネルでこしてから充分冷まして下さい、次に曹達水の瓶を五六本綺麗に洗つて、それへ平均にわけて入れるのです、別に好みの果物の汁を絞つて各々の瓶に矢張同じく平均に入れます此の場合果物の色が變じないやう少量の酸類かレモンのやうなものを加へる、その上瓶が一杯になるほど冷水を入れて一寸味を見て適宜に加減をして供します、なほ供する時に風情を添へるならばレモンならば黃、苺ならば紅といふ風に食用色を少しさすのも結構でせう。

お盆講演會

勿來町にて

石城郡勿來町では大平町長及び町內有志者の熱心なる唱道で思想善導の各種催しを行つてゐるが來る八月十三日の舊曆盆の十六日の一般休業を好機となし同町尋高校に思想講演會を開催の筈であるか講師は思想研究のためロシアに足掛け四年其他歐洲方面に滯在せる斯界の新進國學院大學教授今村時郎氏であると